

7月25日正午必着

明石春浦先生書



こうをあらわしよくをあららかにす
表レ功明レ徳

(嚴光)

その人の功をあらわしその徳を明らかにする。

西 墨濤先生書



ばんねんひとりせいをこのみて
晩年唯好靜

ばんじころろじくわんせす
萬事不關心

みつからかへりみるにちやうさくなし
自顧無長策

むなしきうりんにかへるをしんぬ
空知返舊林

(王維)



窪田華岳先生書

条幅部創作課題

嵐光浮動千峰濕、雨氣薰蒸五月寒。(文徵明)

山気がつややかに浮動して峰々はうるおい雨気がたちこめて五月の時候も涼しい。

三種の詩文から一種を選択して出品のこと。

専志事皆成(徐照)

志を専らにし事皆成る

一心に事を行えば、何事も成就する。

戯書

荒村遠城市 不知羅綺鮮
村女簪紅花 顧影亦自妍

(趙翼)

戯れに書す 趙翼
荒村城市遠く 羅綺の鮮やかなるを知らず
村女紅花を簪にす 影を顧みて亦自ずから妍なり

都会から遠く離れた村里では、美しい絹の衣装などは着ることも見ることもない。村の娘はあかい花をかんざしにして、その影を見て喜んでゐるが、そのすがたはかえって素朴で美しい。

七夕妙高臺坐月 (余京)

今夕天風爽 吹余到十洲
瑤臺孤島夜 銀漢半輪秋
潮響龍移窟 江明鵲起樓
憑欄星斗近 指點說牽牛

七夕妙高台にて月に坐す 余京
今夕天風爽やかに 余を吹いて十洲に到る

瑤台孤島の夜 銀漢半輪の秋
潮響いて竜窟に移り 江明らかにして鵲楼に起つ
欄に憑って星斗に近く 指點して牽牛を説く

半紙部規定課題A

7月25日正午必着

高岡
行臥紀

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

7月25日正午必着

行書

高臥紀
細行

隸書

高臥紀
細行

明石春浦先生書

草書

高臥紀
細行

行草書

高臥紀
細行

おくぶかい住居、山中のつたかずらをいとおしむそのころ 高雅に隠遁されるが、
その徳によって綱紀秩序は正しく行われる
秋の鷹は下りたつて、鳥どもは飛び散じ 春の草は生い茂り、人は閑静にすごす
山気をかきわけて田舎の寺に帰り 官印をしまつて山中の城を出る
今やここ新安郡は 君ゆえに水がいつそう清らかなことだ

題「元録事所居」 劉長卿

幽居蘿薜情

高臥紀綱行

鳥散秋鷹下

人閑春草生

冒嵐歸野寺

收印出山城

今日新安郡

因君水更清

元録事が所居に題す

劉長卿

幽居して 蘿薜の情あり

高臥して 紀綱行わる

鳥散じて 秋鷹下り

人閑にして 春草生ず

嵐を冒して 野寺に帰り

印を収めて 山城を出ず

今日 新安郡

君に因つて 水更に清し

条幅部半紙部臨書課題



維乾元元年歲次戊戌。九月庚午朔三日壬申。第十三叔銀青光祿(大)夫使持節蒲州諸軍事蒲州刺史上輕車都尉丹陽縣開國侯真卿。以清酌庶羞祭于

祭于
 維乾元元年、歲次戊戌、九月庚午朔、三日壬申、第十三叔、銀青光祿大夫・使持節蒲州諸軍事・蒲州刺史・上輕車都尉・丹陽縣開國侯真卿、清酌・庶羞を以て、(亡)姪・贈贊善大夫季明の靈を)祭る。



唐 顔真卿・祭姪文稿

顔真卿（七〇九〜七八五）は、琅邪臨沂（山東省）の人で、字は清臣。代々、学者で能書家でもある家柄に生まれた彼は、幼くして父を亡くしたが、刻苦勉励して二十六歳の時に進士に合格し、以後唐王朝に生涯忠誠を尽したが、節を曲げぬ忠義剛直な人柄であるがゆえに、時の権力者に疎まれ、たびたび地方に左遷された。

顔真卿を一躍有名にしたのは、安祿山の謀反であった。唐朝を震撼させたこの事件は、彼の活躍で国家の危機を免れたのである。この功績を期に既に名があった彼の書もますます注目を浴びようになった。

唐代は、王羲之流の典雅な貴族的書風を継承する風潮が強かったが、顔真卿はそれにとらわれることなく、彼の性格そのままに、質朴で強靱な書風を形成し、自己の躍動する生命感をあらわしていったのである。彼の書は楷書においては、藏鋒による起筆の丸みや燕の尾に似た払い等、独特な表現法があるが、全体的には向勢に形をとり、懐の広い重厚な書風が特徴である。

この祭姪文稿は、安祿山の乱に殉じた姪の季明を祭った文の草稿である。祭伯父文稿・争坐位文稿とともに三稿とよばれているが、行草書は楷書とは異なり流動的で自己をあらわしやすく、ことに草稿においては結体や筆法、さらにはその時の筆者の精神が巧まず表現されていて、その評価は高い。

（春濤）



しょうけい もじ
象形文字

中学一年

雨宮春聲先生書



かい ひん こう えん
海浜公園

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



なな うみ
七つの海

小学五年

藤井良泰先生書



や せい うま
野生の馬

小学六年

森戸春濤書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

7月25日正午必着



細谷春誠先生書

そよ ^{かせ}風

小学三年



榎戸春龍先生書

^{くさ}草まくら

小学四年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

か わ 小学一年・幼年



藤田幸春先生書

川^{かわ}せみ 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

雲がわき起こった
 海の上に大きな入道

小学五年

鳥の宝庫となります
 夏になると山々は野

小学六年

から発達して来た
 俳句は四百年ほど前

中学

ぬれているようなあの瞳
 白いヤブ——い白百合の

一般(級位)

みそぎぞ夏のしるしなりけり
 風そよぐならの小川の夕暮れは

かぜ 風そよぐならの小川の夕暮れはみそぎぞ夏のしるしなりけり(従二位家隆)

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
 また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

る	よ
	ぞ
ぎ	ら
ん	に
の	
ほ	ひ
し	か

幼年

ぞ	か
ら	が
	や
あ	く
ま	
の	ほ
川	し

小学一年

つ	七
た	夕
	ま
わ	つ
た	り
が	で
し	か

小学二年

美	夜
し	空
い	を
天	な
の	が
川	れ
	る

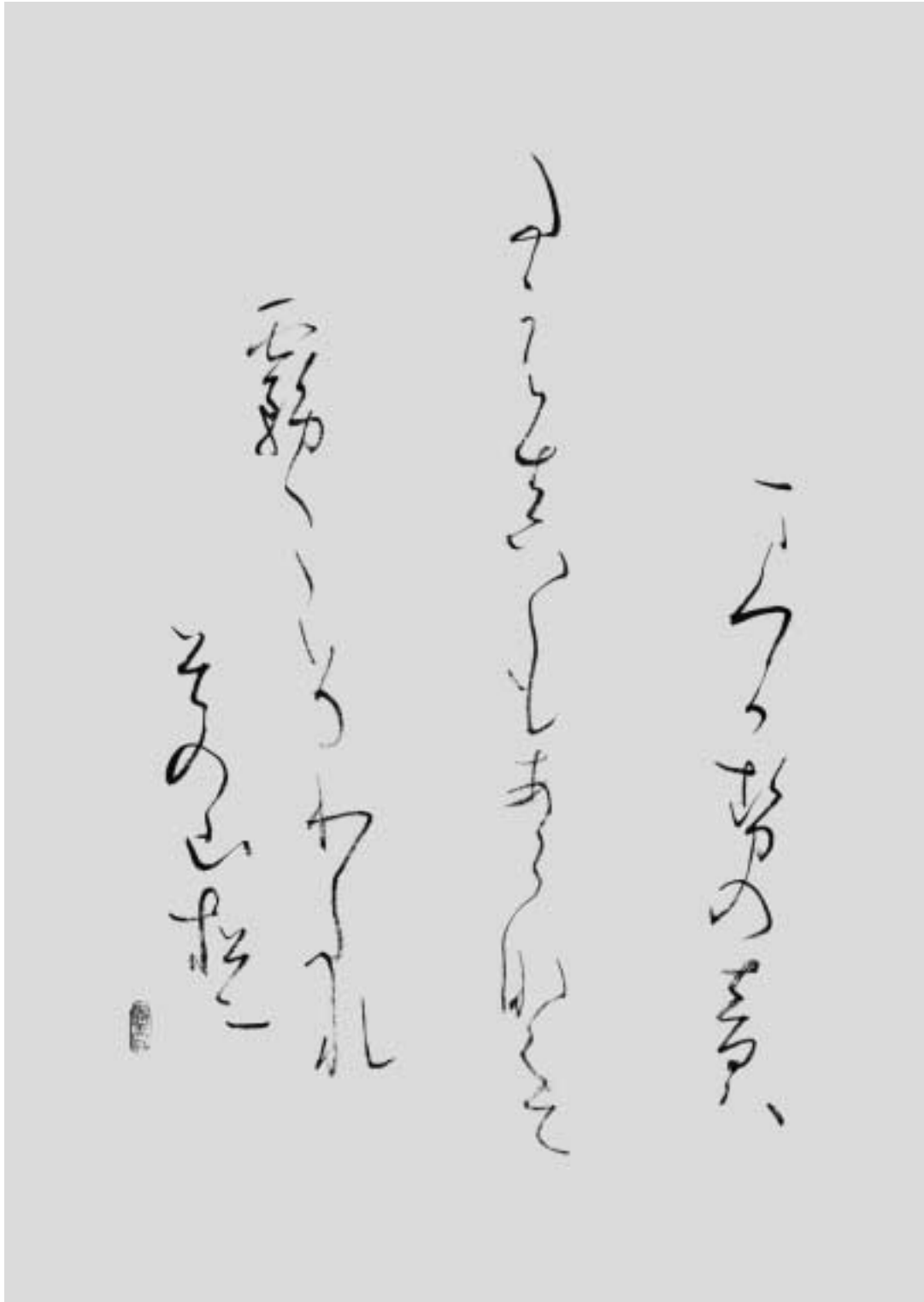
小学三年

く	七
が	夕
夜	祭
風	り
に	の
ゆ	た
れ	ん
る	ざ

小学四年

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。



岩本景楓先生書

万まつかぜの音はたえまもあらなくて霧こそわたれその山松に
可勢 八多 眞 那久 霧 曾 多 二
 (よみ人しらず)